

2～3年完成が遅れても、15億円以上の予算を節約可能でさらに現在の建設計画の多くの問題を解決可能な、(仮称)国際工芸美術館関連の建設計画の変更見直しを求める請願

請願要旨

(仮称)国際工芸美術館(以下工芸美術館に略称)は芹ヶ谷公園にある国際版画美術館裏手の木々が繁る「がけ地」に建設する計画で進んでいますが、以下の変更案のように国際版画美術館の前方か横の「平地」に建設すれば、予算の大幅な削減や自然環境を壊さない等多くの問題の解決が図れると同時に下記のメリットが沢山生じます。計画見直しにより工芸美術館の完成が2～3年遅れると思いますが、現在でも最初の計画からすでに5年以上過ぎていますので大きな問題は無いと思います。芹ヶ谷公園に建設することは歓迎しますが、建設地の見直しを行い、15億円以上の削減可能な金額は別のより大事な予算に役立てて下さい。

1 変更案例

- ① 工芸美術館の建物は、国際版画美術館前方の町田市が買い取ってから20年間放置されている旧町田荘跡地に建設する。又は国際版画美術館横の第一駐車場に建設し、旧町田荘跡地を第一駐車場とする。これにより大きな費用がかかるがけ地建設の土木工事費や土砂運搬費等削減出来る。
- ② 国際版画美術館内の「版画工房とアトリエ及び喫茶けやき」の移転(新規建設予定のアート体験棟への移転)は現存する各施設に何ら問題が無いので中止する。これにより国際版画美術館の改造費と移転費及び新たに作る費用が削減される。
- ③ 新規建設予定のアート体験棟内に予定した「ガラスと陶芸の工房」は工芸美術館内に一体化して作る。また「出会いの広場」等も工芸美術館内に作る。2つの建設予定建物が1つになることにより建設費の大幅ダウンと建物の維持費等が削減できる。

2 メリット(「がけ地」から「平地」への変更による大きなメリット:一石十鳥)

- ① 以下の②③⑥⑦等により建設費が約15億円以上減額可能。知恵を出せば更に可能。
- ② 芹ヶ谷公園の樹木約500本～800本の伐採が必要なくなり緑がそのまま残る。
- ③ がけ地の土木工事が無くなり10tトラック1800台分の土砂運搬が必要なくなる。
- ④ 土砂運搬が無くなり町田第2小学校や第2中学校への通学児童の危険が回避される。
- ⑤ 近隣住民を含め利用者が多い遊歩道(スロープ)が残り障害者や高齢者にも喜ばれる。
又例年芹ヶ谷公園で行われる町田市の時代まつりの武者行列にも支障なくなる。
- ⑥ 世界的に有名な国際版画美術館内の改造が無くなり改造反対運動もなくなる。
- ⑦ 2つの建設予定建物を1つに集約することにより建設費削減と維持費削減できる。
- ⑧ 1994年に町田市が購入しそのまま放置されていた旧町田荘跡地が有効活用される。
- ⑨ 芹ヶ谷公園上の草地広場への土砂仮置き場の設置も必要なくなる。
- ⑩ 子供たちの公園の水遊び場も工事の影響が無くなり来年以降も継続使用できる。

請願項目

- 1 (仮称) 国際工芸美術館の建設を一時停止する。
- 2 (仮称) 国際工芸美術館を平地に建設する案を再検討する。
- 3 上記再検討するときは地域住民はじめ市民の声も聴いて決定する。